

芝浦工業大学柏中学校 2022年度入試出題傾向

注意点

- ・第1回・第2回の上位者を約40名をGS(グローバル・サイエンスクラス)所属としています。
- ・第1回・第2回とも希望者に、規定の試験教科に加えて英語リスニングテスト(20分～25分程度・英検3級～英検2級レベル)を実施します。その結果、英検3級以上と認定した場合、そのレベルに応じた加点を行います。
- ・課題作文試験では簡単な面接も実施します。
- ・国語・算数・社会・理科については、第1回・第2回とも、今年度と同傾向の予定です。

教科と配点

第1回・第2回

国語45分・100点 算数45分・100点

社会40分・75点 理科40分・75点

4教科計350点満点

- ・希望者のみ英語リスニングテスト(20分～25分程度)

課題作文試験

- ・簡易な適性検査型課題作文(文章・図・グラフなどを参照)
人文社会系テーマ(45分) 合わせて250～400字程度
理数系テーマ(45分) 合わせて200～400字程度
- ・面接(5分～10分):自分の生活などに関すること(とくに準備は必要としません)
- ・2020年度入試から希望者の英語リスニングテストは実施していません。

全体の傾向

第1回、第2回とも基本的に同じ出題傾向です。

基礎基本を重視した出題で、受験者平均点を60%弱に設定して作問をしています。

特定教科による足切り点などはありません。合計点で判定します。ただし、平均点が60%弱、ボーダーラインがそれより10%程度高いことが予想されますので、極端な苦手科目があるとボーダーラインに届きにくくなります。

出題傾向

国語(45分 100点) 大問3題

1. 漢字 第1回、第2回とも問一は今年同様「書き取り」の問題。問二も今年と同じ出題傾向。漢字の成分や成り立ちを考えておくとよい。加えて、これまで通り、物語的文章または説明的文章の中で一～二題の「書き取り」問題を予定している。
2. 物語的文章 ここ数年出題した作家と同傾向で出題。これまで出題した作家であることもあり得る。これまで出題した作家は宮沢賢治、小川未明、坪田譲治、太宰治、有島武郎、芥川龍之介、志賀直哉、井伏鱒二、川端康成、新美南吉など。場面・情景・心情などをていねいに出題する。また、自分で本文から類推する問題、比喩・オノマトペ・慣用句など表現に関する問題も出題する。全体で70字程度の記述を出題する。
3. 説明的文章 一般書・新書などから出題する。漢字、接続詞、段落、内容理解、本文に対する意見や具体例を考える問題など。漢字も含めて記述式と選択式の解答。要約力、文章構造も問う。文意を丁寧に追っていけば確実に取れる問題である。また、70字程度の記述問題を出題する。
▼記述式の問題について。指示語の指示内容・接続詞・理由説明・心情説明など、国語のテストでよく目にするもので、字数指定がある、解答の説明文の空欄にあてはまるように書くなどの形式。文章全体を要約するような問題、内容に対しての自分の意見を書くような問題も出題する。

算数(45分 100点) 大問7題

1. 小問集合(計算問題など) 2～4. 中問 5～7. 大問

※ 特定の分野だけを深く勉強するのではなく、広く勉強してほしいので、様々な分野から出題する。

※ 途中の式や考え方を記入する問題を出題している。

※ 「答に至る理由や考え方そのものを、文章で表現する問題」を出題している。(記述量は2行程度)

社会（40分 75点） 大問3題

1. 歴史分野[日本の歴史] 2. 地理分野[日本の地理] 3. 公民分野[政治・経済]

※ 各分野において、グラフ・表・図・地図などの資料から読み取る問題も出題する。また、新聞・テレビなどでよく報道されている内容も出題されやすい。

※ 漢字指定で解答する用語問題は、漢字で正しく書かないと不正解となる。

※ 分野によっては、10～50字程度の文で説明する問題を出題している。ポイントを押さえてわかりやすく説明することが大切である。

理科（40分 75点） 大問4題

1. 生物分野 2. 地学分野 3. 化学分野 4. 物理分野

※単なる知識だけではなく、思考力・計算力も問う。簡単な記述問題もある。また、総合的な内容もこれまで通り出題するので、身近な現象・エネルギー・環境などにも関心を持ちながら、各分野バランスよく学習することが求められる。

課題作文（45分×2種類）

課題作文 人文社会系テーマ45分 全問合計で250～400字程度

理数系テーマ 45分 全問合計で200～400字程度

・いずれも簡易な適性検査型課題作文で、文章の他に表・グラフ・図などの資料を参照しながら解答する問題も含まれる。

面接(5～10分程度)は、とくに事前の対策をしなくても答えられる内容となっている。

2021年度 中学入試結果

	第1回 [1月23日 (土) 実施]	第2回 [1月27日 (水) 実施]	課題作文 [2月4日 (木) 実施]
募集定員	男女 約110名	男女 約55名	男女 約15名
志願者数	1134名	774名	417名
	男子777名・女子357名	男子519名・女子255名	男子266名・女子151名
受験者数	968名	399名	112名
	男子663名・女子305名	男子277名・女子122名	男子77名・女子35名
合格者数	458名 (GSクラス合格115名含む)	133名 (GSクラス合格18名含む)	10名
	男子315名・女子143名	男子92名・女子41名	男子9名・女子1名
実質倍率	2.1倍	3.0倍	11.2倍
	男子2.1倍・女子2.1倍	男子3.0倍・女子3.0倍	男子8.6倍・女子35.0倍
GSクラス倍率※1	8.4倍	14.4倍※2	—
	男子9.2倍・女子7.1倍	男子16.0倍・女子11.8倍※2	—
一般クラス倍率	2.5倍	3.3倍	11.2倍
	男子2.4倍・女子2.6倍	男子3.3倍・女子3.4倍	男子8.6倍・女子35.0倍

※1…GSはグローバル・サイエンスの略称

※2…第2回試験におけるGS判定には、第1回で一般合格し入学手続きした生徒がGS判定のみを受けるGS再挑戦制度があり、(実質)倍率については第2回の受験者・合格者にGS再挑戦者を加えた人数から算出している。

なおGS再挑戦における受験者・合格者の人数は以下の通り。

受験者…男子(43)、女子(19)、合計(62) 合格者…男子(9)、女子(5)、合計(14)

第1回 [1月23日 (土) 実施]						第2回 [1月27日 (水) 実施]						課題作文 [2月4日 (木) 実施]		
教科	国語	算数	理科	社会	4教科計	教科	国語	算数	理科	社会	4教科計	課題	人文社会系	理数系
配点	100点	100点	75点	75点	350点	配点	100点	100点	75点	75点	350点	配点	100点	100点
受験者平均	45.5点	50.8点	35.8点	47.8点	180.2点	受験者平均	44.1点	56.2点	40.3点	44.0点	184.8点	受験者平均	40.4点	39.4点
合格者平均	52.8点	61.8点	42.1点	54.1点	211.2点	合格者平均	53.0点	68.5点	46.1点	51.6点	219.3点	最高点	86点	73点
最高点	86点	92点	62点	72点	266点	最高点	78点	94点	61点	66点	280点	合格最低点	123点	
合格最低点	—	—	—	—	189点	合格最低点	—	—	—	—	202点			